



学校だより

令和 5 年 8 月 28 日

学 校 教 育 目 標

8・9 月 号

ともに学び、創り出し、行動する子 = 輝く自分、輝く鶴小 =
横浜市立 鶴ヶ峰小学校

(<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsurugamine/>)

夢中になれるもの

校長 渡辺 正規

記録的な暑さが続いた今夏でした。まだ過去形にできないところですが、その中でまた、元気な子どもたちと会えることをとてもうれしく思います。

この長期休みの間、鶴ヶ峰各地区で行われた夏祭りに参加することができました。どこも久しぶりの開催とあって、喜びもひとしおといった雰囲気でした。子どもたちをはじめ、たくさんの方々との会話が生まれ、笑顔に触れることができました。夏休みの過ごし方も今年はよりダイナミックになったというご家庭も多かったのではないのでしょうか。

冒頭の夏まつりでは、盆踊りの太鼓を櫓の上で勇ましくたたいている本校児童も見つけました。地域の中で技が受け継がれているようです。ジュニアボランティアの活動が始まり、やる気いっぱいの 5 年生代表児童にも会いました。これも地域の方々の支えによるものです。当人たちにとって、きっと思い出深いものとなったことでしょう。

「大いに読書ができた」「家庭科で習った料理をした」「水泳をがんばった」「平和について考えた」「算数の復習ががんばった」・・・これからどんな話を聞くことができるか楽しみです。作品展もじっくり鑑賞したいです。「長期休みならでは」と頑張った子どもたちの成長を確かめたいと思います。「夢中になれた」「〇〇が好き」をもてていたらなおよいです。きっとこれからの生活も豊かにしてくれるでしょう。

いえ、そうでなくても悲観するなかれ。これから、日々の学習、遠足、運動会、ゆめつるコンサート等の行事と、たくさん魅力的な教育活動があります。また、活動を創っていくことができます。ぜひ、夢中になれるものを見つけてほしいです。

教職員も夏の研修を通して、改めて中期学校経営方針に示されている「自己肯定感」の共通理解を図りました。

熱中症等に十分に気を付けての再開です。一人ひとりが自分のよさを感じられるように、価値づけできる声かけを大切にしていきます。